

長崎県立長崎明誠高等学校「ふるさと教育」体系図

学校番号
48

テーマ ふるさとから学び、SDGsに貢献する人材育成

目標 地域(自治体、地元企業、大学等)と連携して、主体的で深い学びの場を創出する。
また、現存する地域の課題を自ら発見し解決する能力の育成を図り、SDGsに貢献できる人材を育成する。

育成したい
資質・能力

- ①ふるさとに貢献したいという社会参画の意識
- ②課題の発見・解決に必要な思考力・判断力・表現力
- ③他者と協働できるコミュニケーション力



<行政機関など>

- 長崎県庁(企画振興部、産業労働部、観光国際部)
- 長崎市役所(琴海地域センター)
- 長崎市北部商工会
- 長崎市社会福祉協議会

等

外部
機
関

指導・助言

協働

<教育機関など>

- 長崎女子短期大学
- 長崎総合科学大学
- 長崎県歴史文化博物館

等

長崎県立長崎明誠高等学校 (総合学科 1・2・3年)

<主な取組>

- ◎「産業社会と人間」(1年)、「キャリア・プランニング」(2年)、「課題研究」(3年)における授業展開
- 地域民間講師招聘事業(地域の匠・達人・専門家による講義・講話)
- 各教科の授業展開
 - ・SDGsの視点を入れた授業
 - ・地域の素材を取り入れた授業
 - ・ふるさとの問題発見解決学習を取り入れた授業
- 生徒会活動: 地域開放下行事・ボランティア活動
- 部活動: 地域ボランティア活動
- 研究成果の発表: 中間報告会 11月、実践成果発表会(長崎明誠発表会) 2月

ふるさと
教育
推進
委員
会

<校内組織>

- [委員長] 校長 [副委員長] 教頭
- [委員] キャリア教育主任 教務主任 進路指導主事
生徒会指導部主任 各学年主任

<成果指標>

- ①「将来ふるさとの発展に貢献したい」という意識が高まった生徒の割合 85%
- ②「SDGsに貢献したい」という意識が高まった生徒の割合 85%
- ③「取り組みを通じて、思考力・判断力・表現力などが高まった」と感じる生徒の割合 85%